

**令和5年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1502

施設名	伊丹市立図書館北分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施 策：生涯学習・スポーツ 実施施策：図書館サービスの充実		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 まちづくりステーションきらめき (団体の住所又は所在地) 伊丹市中野北3丁目1-41		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	105,000人 235,000冊	今年度の実績値 107,653人 235,646冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	R元	R2	R3	R4	R5 (上期)	R5 (通期)
	来館者数(人)	140,159	126,425	91,005	93,219	101,716	54,563	107,653
	講座開催回数(回)	65	151	6	76	89	61	146
	講座参加者数(人)	686	3,593	468	1,411	2,046	1,065	2,497
	貸出冊数	251,684	246,569	208,975	231,123	233,597	120,601	235,646

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	3ヵ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	28	43	50	40
	その他	5	5	5	5
	指定管理委託料	28,461	28,725	31,582	29,589
	①合計	28,494	28,773	31,637	29,635
支出	維持管理				
	光熱水費	0	0	0	0
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	83	83	83	83
	運営				
	人件費	26,684	27,094	27,874	27,217
	事業等経費	1,476	1,689	4,367	2,511
	その他	0	0	0	0
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	28,243	28,866	32,324	29,811
純収支 (①－②)		251	△ 93	△ 687	△ 176

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉		H30	R元	R2	R3	R4	R5
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	33,748	35,103	35,668	34,456	36,218	39,081
	(内、指定管理委託料)	26,248	27,603	28,163	28,461	28,725	31,582
実質経費（歳出－歳入）		33,748	35,103	35,668	34,456	36,218	39,081

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	A	いずれの項目も伊丹市の方針に従い、「協定書」及び「仕様書」の規定事項に基づき、きららホールと連携しながら、適切な施設運営に取り組んだ。また、改修工事による読書環境の影響を最小限にとどめるよう管理に努めた。	A	協定書・仕様書に基づき適正な管理運営が行われている。改修工事においては利用者への影響が少なくなるよう努めた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		A	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	必要な経験と実績を有する職員を、業務量に対し適切に配置している。また、きららホールと連携して防火管理体制を整えている。	A	適切に職員が配置されており、研修にも積極的に取り組んでいる。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	きららホール全体で、緊急時対応マニュアルに基づいた火災地震避難訓練を年2回実施し、その都度見直している。	B	避難訓練を実施し安全管理に努めている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用しやすい施設運営を常に心がけ、利用者からの意見や提言を本館等と協議連携し早急に対応を行うなど、サービスの向上に努めた。	A	利用者からの要望等に適切に対応し、利用者サービスの向上に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナ五類移行後、事業参加者数も増えてきており、k ITAシネマ等DVDを利用した上映会は好評であった。	B	地域との連携を図りながら、コロナ禍からの回復に努めている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護や情報公開においては法令遵守の取組を進めており、情報提供についてはホームページ並びにブログ、広報等により積極的に行っている。	B	ホームページ等による情報発信を推進している。個人情報を適正に取り扱っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画に基づき、適正に管理運営を行っている。また、多重チェックによる適切な経理処理を行っている。	B	収支計画に基づき適正に執行されている。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	昨年度より来館者数等が増加したが、これは地域のなかで特色ある利用しやすいサービスを積極的に提供しているためと認識している。しかし一方でアンケート数が来館者数に比べて少ないため再度、実施期間、用紙の配布方法など検討し、利用者のニーズの把握に努めてほしい。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和6年3月1日～令和6年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	○窓口スタッフの接遇 97%が「大変よい」または「よい」と回答	今後も皆様に気持ちよくご利用頂けるように接遇向上に努めます。また事業内容の創意工夫やレファレンスの充実にも一層取り組み、利用者の拡大や満足度の向上に努め、地域に根ざした図書館として、市民の読書活動を支援して参ります。
回答者数	○総合的な満足度 87%が「満足している」または「ほぼ満足」と回答	
38	○今後も利用したいと思うか 100%が「利用したい」と回答	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置